THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻第三十二號
大正八年十月十日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

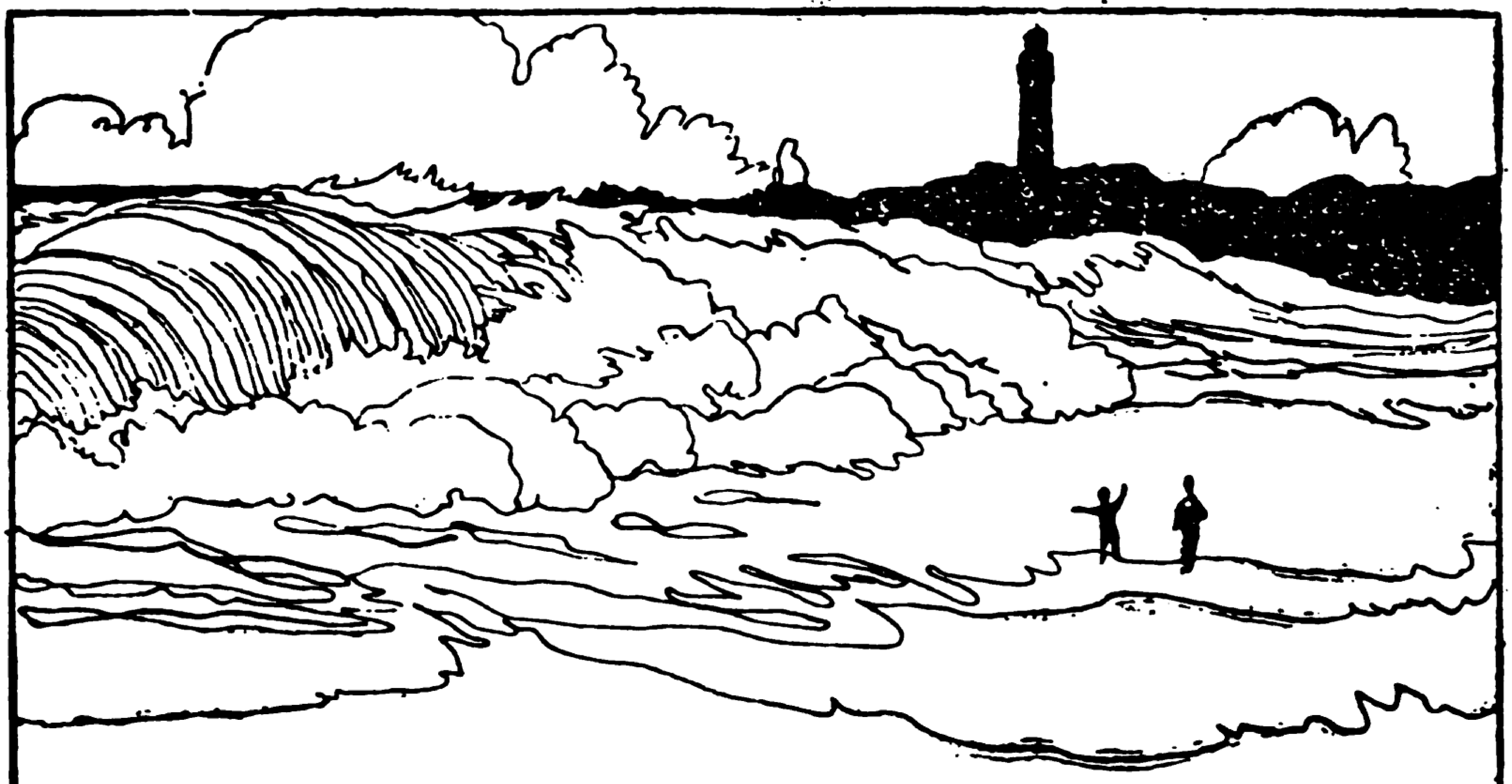
目次

□一事を徹底せよ 小橋三四子
□時事週評
□地方は神の國 …… 森村市左衛門
□面白かつた女「安井哲子女史」
□赤城山頂より（三） 服部他助
□配達夫と共に歩んだ大森郵便局長夫人 …… Ｓ子
□業成つて歸國した朝鮮婦人の消息
□いろいろの社會「都近い海水浴場」…… 民子
□噂
□旅行と眼 …… 前田珍男子
□汗になつた着物の手入 …… 若原榮代子
□毎日取るべき副食物 …… 石原右之
□漁夫と百姓と …… 澤田斷雲
□オハナシ「自然兒」…… 山本琴子
□戰爭について …… 高田てい子
□見合失敗物語「電話での話」…… 近藤浩一路
□時事 …… 編輯室より

定價一部四錢五厘 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



お旅行先きや、お避暑地先きにて……………お不便の事が御座いましたらば、すぐに三越へお葉書を一本お差出しを願ひます

お旅行やお避暑地で御不自由な事があつたり、不愉快な事がおありになりますと、折角の旅行や避暑の趣味を大變に減ずるものであります……

……お用品は三越へ、三越は迅速で精確であります事は今更申上ぐる迄もありません

東京駿河町　振替口座東京三百番

三越呉服店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一事に徹底せよ

米國遂に禁酒國とならん

□禁酒案上院通過

米國が聯合軍に參加して、宣戰を布告するや、先づ國內の風紀は立所に振肅して、其の準備にをさ〱怠りなき內にも、食糧問題は今回の戰亂中の敵味方を苦しむる砲彈であると知つて、擧つて之れが爲めに意を注いで居ります。折柄多年其の輿論を作つて來た禁酒運動は、遂に勝利の秋に遇ひ、食物の浪費は先づ酒に釀造する多額の穀類を節約するにありとの聲が盛んに起つて參りましたが、果して八月一日の米國上院は別項時事欄に掲載の如く二十對六十五の多數を以て、全米國に絶對禁酒を強制する憲法改正を可決しました。之れが憲法制定を見る迄には、なほ下院の決議を經、六年間に全州の三分の二の協贊を經なければなりませんが、もはや米國の隅々迄浸潤した此の主義は、案外早く實行を見るに至るであらうとは、容易に想像される所であります。

□孤軍奮鬪の鼻祖

之れに就て何人も思ひ起すは禁酒運動の鼻祖として、三十年前に孤軍奮鬪したウヰラード孃の事であります。今日でこそ無冠の女王として、國民の誇の的となつて居りますが、當時の米國にあつては、「世間知らずの愚論」と聞えたのであります。而して嘲笑と貧窮との間に、終始主義の爲めに戰ひ疲れた勇士は事半ばにして斃れましたが、其の強い主張は全國民の心の奧に植ゑ付けられ、遂に今日主義の勝利を見るに至つた事は、餘所事ながら涙の溢れるやうな事實であります。之れに反して我が國に禁酒主義が傳つて以來、もはや三十年になります。然るになほ未丁年者の禁酒法案さへも議會を通過せぬ有樣なのは、誠に殘念な事で、彼我の國民の德義心に相違があるにしても、其の運動方法に、必ず多くの缺陷がなくてはなりませぬ。

□執着は研究によつて

元來日本の人々は一事に執着する念が、甚だ乏しいのであります。偶々一事に執着する人はあつても、其の主義に就て、絶えず研究を續け、新らしき發見と興味とを以て、心から叫ぶ人が少いのであります。我が禁酒會、婦風會等が禁酒の一事を以て、三十年間研究し續けたとすれば、幾年同一の禁酒問題に就て語つても、人々は厭かずに耳傾くる程の材料を持つ筈であります。然るに聞く人も「また酒のお小言か」と云ひ、語る人も「一つ禁酒論計りでもあるまい」とて、遂に迂回して其の說に至らうとして居る間に、初めの熱は消えて、また新らしい努力を要するといふやうな浪費が多々繰り返へされて來た恨みがあります。

□事業は多々自ら生る

之れは我が國の禁酒論者にのみ限られては居りませぬ。愛國婦人會の如きも、戰時の我が國家の後援となつて働らくといふ主義の下に創立せられたとすれば、此の一事も徹底して研究されたら、絶えず有効な働らきを續ける事が出來ませう。例へば

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

歐洲大戰亂の昨今、我が國も聯合軍の片端として、國民の間に何等か戰時の覺悟がなければなりませぬ。また其の後援として種々の企てもあるべき筈であります。今日の戰爭は單に武器の戰爭に非ずして、其の資力、財力、食糧等、國家を擧げて戰はねばならぬことを、實例によつて說き示し、やがて我が國の非常時に備ふる覺悟を促す爲、全國に巡回講師を派遣するのも折にとつての必要な働らきであります。いざ起たねばならぬといふ國家の危急に際して、津々浦々の少女等迄に各々貢献すべき事業を數へ、之れを訓練して行くのも、更らに怠るべからざる仕事であります。戰地にある我が聯合軍への慰問として、眞心籠めたる一袋でも送らんことに盡力する事は、更らに目前に迫つた急務であります。其の他常に一事に集注して、研究を怠らぬ者には、必ず何等か必要な事業が多々湧き出でゝ参りませう。

□一事に籠るゝ精神

我が國の主義主張を稱ふる者は、未だ何等世に其の意見を問はぬ前に、早くも團體を結んで形式を整へてしまひます。而して精神は此の形式に束縛されて自由な運動を妨げられる嫌ひがあります。それ故會の精神は、常に周圍から虐げられつゝ、薄弱にされて行く傾きがあります。今後の活動が團體の力に須たなければならぬとは云へ、烏合の衆ならば、寧ろ一人の熱烈な精神の方が、世を動かす大なる力を持つことが出來ませう。而して中心人物は多數の人を附和雷同さする爲めに、其の精力を消耗するよりも、寧ろ常に我が主義に就て研究し、滾々として湧き出づる新らしい興味を以て、一事を徹底せしむる事を心掛けたいものであります。西洋の或る學者は聖書に「聖靈」とあるは「精氣」と譯すべきであると、其の研究に生涯を投じて、倦むことなく、超然として研究に沒頭して世を去つた人さへありと申します。迂の如く愚の如きこの精神が、アングロサクソンの今日の文化を生み出したと、申さねばなりませぬ。我が國は物質的にも精神的にも、開拓しなければならぬ多くの事業が、目前に横つて居ります。而して一事に徹底する人の出づる事は、其の道を拓く最も捷徑な策と申さねばなりませぬ。（二四子）

時事週評

□禁酒優勢　別項記載の如く、米國上院に禁酒案を可決して、遠からず全洲に禁酒令を布くに至らん形勢です。先きに露西亜に禁酒令を布き、英國は宮廷先づ禁酒して、範を國民に垂れ、今回米國も亦禁酒國たらんとしつゝありますが、從來空想論の如く取扱はれた主義が、着々世界に實行せられつゝあります。我が國は或は自然主義、自由戀愛等いち早く歐米一派の人々が私かに稱ふる說を容れて公然大膽に實行する輩はあつても、之れ等國民の向上、人類の改良に與つて力ある問題を、等閑視しやうとする傾きのある横着心のあるのは、恐るべき傾向であると申さればなりませぬ。

二

□新自動車取締法　從來自動車の速力に市内が一時間八哩以内、郡部は十二哩以内といふ規定でしたが、近來其の制限を破つて不完全な道路を疾走させる者が多いといふので、一日の府令に於て次のやうな決議をされたと聞きます。それは快速力を有する自動自轉車二臺を買ひ、これに熟練した運轉手を乘せ計速器を供へ付けて置き、手當り次第に自動車を追跡させて、萬一無法の速力を出して居るものがあつた節には、處分しやうといふのださうです。道路の不完全といふ事がかうした急造の安全策を要求するとは云へ、自動車本來からの目的から云つて、矛盾した處分で、寧ろ思ひ切つて道路に文明の設備を整へる方針を取り通行人は心して車道の防害を爲さぬやうにして、早くかやうな幼い處分を撤回せしめたいものであります。

□立秋　過る八日が立秋でした。暑な猶く火けでも蘇るやうな烈しさです。

地方は神の國

其有爲な青年の指導如何

男爵 森村市左衛門

□指導者なき地方の青年

今日のやうに世界中成金熱が高まつて來ると、昔よりは智識の進んだ敏慧な青年等が、地方に蹲つて居る事が出來ず、一躍天下の富豪とならんと志すのも無理ならぬ事である。私は棚から落つる牡丹餅を、これ等青年に食ふなと云ふよりは、寧ろ大に食へと云ひ度い。然しながら私共の眼から見れば、地方は神の國の如く、常に國家の新鮮な活力を生み出す母であるから之れを敎化する事は最も大切な事と思はれる。歐洲大戰前十年間、獨逸は地方の敎化に務めた結果、國家の殖産力は實に十七割となつた。英佛は此の間僅かに一二割を增したのみであつた。然るに私が此の頃諸所を巡回して常に感ずる處は、我が地方に適當な指導者のない事である。地方人は昔ながらの山を見、田畑を眺め、何の興味もなく、額に汗して、孜々として務め、漸く我が一家の生計を支へて居る有様である。其の地方の全權を握つて指導の任に當るべき地方官は、常に交迭して、徹底した施政を行ふの暇もなく、中央の雲行きのみを見て、戰々競々として居る。今日は、野中兼山や二宮尊德の如き人物を、地方に要求して止まないのである。

□戰後の世界

現在我が國に於ては、全國に六千の青年の團體があつて、既に幾分見るべきものがある。我が政治家等は、單に机上の論に止らず、日本の隅々迄、心を盡して、これ等多くの青年團に、根本の精神を與へて指導して行かれ度いと思ふ。戰後歐米は必ず一層智識が高調さるゝに違ひない。其の富强な智識を以て貧弱な智識の東洋に向へば、恰も相撲取りと小僧との如く取組にも何もなつたものではないのである。工業、商業の衰頹は、忽ちにして貧乏國とならずば止まない。智識と共に、又其の魂に根底がなく、ふらついて居るやうではならない。地球上に起ち世界を差支へなく歩める世界的の精神を作らなければならない。

□四十年前英國に遊びて

私は今日迄さまざまの信念に首を突き込んで來た。維新の初年、世は科學萬能を稱へた頃、私は福澤諭吉翁の敎へを受けて獨立自尊、富國の道を講じて、國家に貢獻せんとのみ考へ、宗敎には極めて冷淡な態度をとつて居つた。然るに四十年前倫敦に行き、ビクトリヤ女皇の治政を親しく見るに及び、いかにも上下擧つて敬神の念に富んで居るのを見て、感動せざるを得なかつた。女皇は「我が英國の隆盛を致したのは、實に此の聖書一卷にあり」と宣はれた。而して工場の一職工も、正直、親切を以て品物を作り出して居り、大工が釘一本打つにも、拔けない樣にとの精神を籠めて居るのを見て、眞に見えざるを見給ふ神を知る人々の尊さを感じた。かくてこそ文明國民として、世は經驗せざる者の容易に窺ひ知るべきではないが、區々たる世の富や位の喜びに比ふべくもない。そして我れ等は到底神の爲めに作られたものであるとの意義が判然して、其の生活に根底を與へ、規矩を與へ、謹嚴を添へ、希望を與へるものであると思ふ。人々は擧つて此の域に進み、我が國家の永遠の成長を望みたいものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

界の愛敬と信用とを亨くるに足るものであると痛切に感ずるに至つた。歸來幼き頃に培はれた佛教の信念は再燃し初め、之れを眞面目に研究し、信仰もしたが、己れ一個は安心立命して、無我眞如實相を悟り得たるも、一歩踏み出して、地球上に起ち世界を往來するには、恰も小判一分金の通用し難き寶を持てる恨みがあつた。どうか世界の文化も容れてなほ壞れぬ信仰が欲しいと希ひつゝ基督教を求めて遂に心から其の恩寵を亨くるの喜びに遇つた。誰れか基督教を以て西洋の宗教と云ふか。今日世界を歩まんとする者は、金貨を携へ、國内にも汽車、汽船、軍艦等を競つて整へつゝ、これを以て世界の强國と誇らんとしつゝあるではないか、基督教は

四

決して西洋の宗教ではなくして世界、人類の教へであり、苟も唯一の神を知り、永遠の生命を求めんとする者の、何人もこれを信仰する特權を持てるものである。宜しく我が國民は昔印度の佛教を容れて國教とし、支那の文字を傳へて國字を作つた如く、今日の文明の光りを仰ぐに吝ならずありたいものである。

□世界の成金

・世界の富豪なるカーネギーやロックフェラーの如きも、成金に違ひなからうが、彼れ等には根本に宗教の精神を蓄へ、金を持つた結果は、世界人類の平和向上の爲めに捧げやうとの念が厚く、遂に國民を教化し、政府迄動かして、其の富を善用して居る。之れに反して日本の成金等は、何を營まんとしつゝあるか、我が一身を害ひ、鄕黨に惡風を傳へ、世に害毒を流すやうに、其の富を惡用しつゝあるのではないか、之れ實に戰慄すべき事實である。信仰生活の恩寵

面白かつた夏㈢

南歐のアルプスに登山した思出

安井哲子女史

▲『私の夏の思ひ出中で最も興味の多い面白いのは南歐のアルプス山に登つた時でございます。同勢は校長とその秘書の太つた婦人と私、それに山案内者が二人の五人でした。一體西洋の登山者は非常に注意が行き届いてゐて、衣服や食物などの事は勿論、靴などにしても、山へ登つても破けたり、辷つたりしないやうに靴の底に鋲を打とか、靴ずれがしないやうに靴下の底に石鹸を塗るとか致します。また初めから高い山へ登らずに足慣らしに低い山に登り、次第に高い山へ登るやうに致します。また連れて行く山の案内者は登山者の全責任を負ふので六ケ敷試驗を通過した上一二三等と等級がついて居ります。

▲『私の登つたアルプス山はアルプス山脈中の一つの山で、一番高い山ではなかつたのですが、大層變化の多い面白い山でした。私達三人は輕裝し二人の案内者は厚い毛皮の外套を着て荷物を脊負ひ、私達を間に挾んで前後に分れて從つてゐます。一人の案内者は本案内者で雪斧を以つて前衛し、一人は副案内者で後にゐました。雪斧は萬一雪路にさしかゝつた時、安全な足場を得る爲めに道を搜すのに用ゐます。

▲『その地は獨逸語を話す地方でした。その山は岩石の多いことで有名でございます。朝の三時まだ暗い時に宿を出て相呼應しながら登り始め、いよ〳〵絶頂に近づいて岩石の多い所に着した頃から小雨か煙り、さらすると靴が辷りさうです。全く危險なので後へ引つ返さうかとも言つて見ましたが、登山口と降りる處とは道が違ふので遂に登ることに決し前進しました。今追想しても勇壯な思ひの湧くのは十數尺の高さに突き立つた岩の上に案内者に綱で引き上げられた時でございます。案内者は片手を岩につかまり、もう一方の手と齒とで綱を引き上げてゐましたが一歩誤ると大切な人命を左右する位置にあるので、精神の集注した眞面目な表情をしてゐました。私が最初に引き上げられましたが、案内者は私を僅かに平な岩の上に立たせ、動いてはいけないと言ふことを英語を知らない所から知るだけの言葉をかき集めて、"Veny slop" と力强く言つたのは今も耳の底に消えずにゐます』と仰有つたのは東京女子高等師範學校教授安井哲子女史であつた。夫れは今から二十年近く以前の話、此の登山以來決斷力と勇氣が增しましたとも仰有つてゐた。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤城山頂より（二）

——濃霧——山頂の獸類——山頂の昆虫類——山頂の鳥類——杜鵑の秘密——

服部他助

□濃霧

此處赤城の山頂に、綿のやうな濃霧が襲來し初めると、山嶺や湖水や廣原や深林の美しい畫面は悉く抹消し去られて、見る事が出來なくなります。霧は光線を遮り、音響を散漫して、其の出所を不明ならしめ、且つ咫尺の先を辨ぜず、磁石は一切何の用をもしませんから、赤城山は餘りに深山でないにも拘らず濃霧は最も恐るべきものとされて居ります。それで私が登山する度每に、此の山頂で濃霧の爲めに非常なる危難に陷つた多數の登山者を目擊しました。又私自らも幾度か踏み馴れた路にも拘らず、濃霧の爲めに數回道を失ひ、漸く牧夫に助けられて無事目的地に達した事がありました。一昨年の八月も三人の學生が濃霧に遇ひ、僅か數丁前きにあるに相違ないことが分つてゐた猪ケ谷旅館へ、四五時間を費してもどうしても達する事が出來ず、終に疲勞し切つた結果或る大木の根元に露營して一夜を過したことがありましたが、翌朝霧が晴れて見ると尋ねた旅館は僅か半丁餘の先きにあるのみであつたといふ事でありました。

□壯觀なる霧の去來

此の濃霧の襲來し初める時の有樣を遠くから見てゐますと、其の勢の實に猛烈なる、爽快の念と恐怖の念とが相半ばした一種異樣な感が起ります。然しかく突如として襲來し來る濃霧は又時に突如として消失する事のあるは勿論で、渦き簇り屯ろしてゐた此の濃霧が、一種の流れを作つて動き初め、互に追ひつ追はれつして退却し初める時、今が今まで暗黑同樣であつた前後左右に、突然清い水面が現はれ、其の表面に浮べる美しい水鳥が現はれ、深林が現はれ、廣原が現はれ、峻嶺が現はれ、終に目の屆く限り赤城山頂は悉く霧の衣を脫ぎ棄てゝ、再び碧空を頂く清美なる樂園と成ります。

□暗黑の經過を待て

私は山中を歩んでゐまして、突然濃厚な霧に襲はれ、三尺前の物も判然見分け兼ぬるやうになる時、何時も之れと同じ樣な濃霧が、咄嗟の間に何處よりともなく私共の心に襲來して來る事があるのを思ひ出します。然し霧は如何に濃厚であつても天然の美景を隱すことは出來ぬやうに、一度心の目で實際に見得た眞理なれば、永久消失することは出來ません。而してスマイルスが云うた通り、人には時々騷がず、動かず、單に忍耐して唯々其の經過するのを待つべき暗黑の時があります。實に此の樣な經驗を心に持てる人に見せ度きは、此の赤城山頂の濃霧の光景であります。

□山頂の獸類

廣漠な赤城山頂には、夏期は二三百頭の牛馬が放飼されてゐますから、其の全面積の殆んど隅から隅迄薄暗いやうな深い溪谷にも、見上ぐる樣な絶頂にも是等牛馬の足跡の無い所はありません。此くの如く赤城山頂を一の大きな牧場として使用し初めぬ前には、熊、狼、貉、鹿等が多數に棲んで居た事は無論でありまして、今日でも黑檜山の奧には熊や狼がゐると云はれて

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゐます。明治の初年に此處に移住して、山頂唯一の旅舍猪ヶ谷旅館（今は山頂にはこの外に猶ほ青木旅館あり）の創立者猪ヶ谷春雄翁の話によると、赤城山頂の今は曠原となつてゐる所には悉く深林があつて、其處には種々の野獸が棲んでゐたさうです。殊に其の當時は夥しい狼が群を成して鳥居峠から赤城神社へ至る二十丁計りの路を行くにも、日暮などは非常に危險であつたと云ふ事です。又た此の春雄翁から明治初年の移住された頃の話を聞くと、當時は山頂には貉が多くゐて、是等の貉が夜になると食物を漁る爲め、住家の周圍に集つて來て、猫も犬も之れを恐怖するの餘り何時も病氣となり、如何にしても生育しなかつたとの事です。又た山頂が牧場として使用されるやうになつてからも、初めの中は時々何處よりとなく狼が大群をなして牛馬を襲ひ、一夜の中に七頭も馬

を斃すやうなことのあつたこと又た湖水には無數の鯛のやうな大きな鮒がゐましたが、日暮などに釣するには、狼群の襲來を防ぐため湖水の岸から遠く水面に突出してゐる榛の木の上に坐して、釣糸を垂れた事（今日でも此の木の上から釣する習慣あり）後ち是等の猛烈な狼群の始末に困つて、終に「スツリキニン」を使用して一夜の内に拾數頭を斃した事、又た鹿が幾十となく列を造つて新坂といふ所を折り〳〵通過した事、又た親熊が子熊を伴れ、秋末になると沼尻の方面から澤を傳つて栗の實を食ふ爲めに多數來た事等を聽きました。今日では、これ等の獸の影だに更に見ませんから、赤城山頂乃ち大沼小沼といふ二個の舊噴火口なる湖水と地藏山とを中心とし、駒ヶ岳、黒檜山、五輪峠、藥師嶽、出張山、鈴ヶ嶽、荒山、長七郎山等の外輪山に取圍まれる廣漠なる面積内は如何なる深林でも、如何なる幽谷でも、猛獸に出會ふ樣な心配は更にありません。

六

□山頂の昆虫類

山頂では昆虫類が非常に少いのです。松虫とか、轡虫とか、鈴虫とか、馬追とか、蟋蟀とかいふ樣な夏の虫も全く居りませぬ。蟻も至つて少く、蜥蜴・蛇等は稀れに見る事があります。然し蝶類は珍らしい種類が非常に多く、又た一種異つた赤城蟬と云はるゝ蟬が澤山居ます。閑靜な地に、虫の歌聲が賑やかさを添える事がありますが、此の山頂の夜などは、全くの靜寂で虫は鳴かず「シーン」といふ響きさへもない天地で眞に物凄い思ひを致します。

□山頂の鳥類

以上の如く獸類と昆虫類は非常に少いのですが、鳥類の種類は非常に多く、早曉東天が白らみ初むる頃から、夕方暗黑となる時迄、色々の妙へなる音樂が

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或は遠く、或は近くに聞えて、決して絶ゆる事がありません。私の宿泊して居る家は、湖畔に接近した淋しい森の中に建つて居りますが、よく注意して聞きますと、家を取り圍んでゐる白樺や「イタ」や楓、橡等の大樹の枝に留つて鳴く鳥の種類は、毎日時刻に依つて一定してゐます。拂曉四時前後と黃昏七時前後とに、毎日違はず駒鳥の一種が必ず來て半時間以上、妙音で歌を唱ひます。又た毎日午後五時と六時との間には、蚊母鳥の一種が直ぐ目の前の湖面に影を映してゐる小島の森に來て鳴きます。又た夜間も夜鷹、梟、杜鵑などの聲が絶えません。殊に私共登山者一同が氣味惡く思ふ一種の未詳の鳥が、夜神社の樅の大木に來て鳴きますが、其の聲は丁度海軍士官が其の部下を指揮する時吹く笛の音に似てゐまして、恰も谿の隅までも滲透するやうな物凄い音調の違うた音で、二回づゝ續けて叫きます。此の未詳の鳥は大概夜半一二時頃に叫きますが、叫き初めると皆餘り善い心持は致しません。

□杜鵑の秘密

杜鵑は時に依つては非常に多く湖水の畔に來て晝夜間斷なく鳴く事があります。杜鵑に就いて面白い一の實見談があります。元來杜鵑は自分の巢は自分で造る事をせず、其の産卵期には自分の卵子を親鳥が不在中の鶯の巢の内に生んで、鶯に孵化させます。而して杜鵑は鶯の數倍ある大さの鳥ですから、其の卵も從つて大きいのですが、其の色が、鶯の卵子と同樣に、稍々紅色を帶びてゐますから、鶯は少しも知らずに自分の卵子と思つて孵化して大切に保育します。然し杜鵑の雛鳥は鶯の雛鳥より數倍早く成長しますから、孵化後間もなく巢は是等の雛鳥を悉く收容し得ず、元氣の善い大きな杜鵑の雛(普通は一羽)が他の鶯の雛を振り落してしまひます。かくして後とに殘つた一羽の杜鵑は、鶯なる親鳥から養はれてゐますが、杜鵑の雛は忽ちに親鳥よりも遙かに大形のものとなります。然し親鳥なる鶯は依然自分より數倍ある杜鵑の雛を子と思つて養育します。夫れで小形の親鳥なる鶯は、其の子に食を與へ、之れを保育するに骨の折れる事は一と通りではありません。第一其の子が餘りに大きいので、其の口に食物を入れてやる事に非常に苦心致します。そして或る時には雛鳥の頭の上に止つて食を與へ、或る時には其の首に止つて食を與へます。時には餌を運ぶ親鳥の嘴を餌と共に口に含んで離さぬやうな滑稽をも演ずることがあります。殊に成長するに從ひ、非常に食量を要しますから、小ら鶯なる親鳥が大い杜鵑なる雛鳥を養ふ事は、非常に困難となりますが、鶯は矢張りこれを自分の子と思うて更に疑ひませんから、自分は痩せ衰へながら、親の熱情を以て之れを養ひます。何故杜鵑は自分の卵を自分で孵化出來ぬか、又如何にして鶯の巢を選んで之れを産卵して孵化せしむるやうな習慣となつたかといふやうな事は、最も興味ある研究事項であると思ひます。古今東西の詩や歌に賞讃せられる杜鵑も、實は獨立して生活する事叶はず、其の存在は一に鶯の力に依つて漸く維持されるといふ此の事實は、人に對して何等かの深い意味の教訓を物語つて居る樣に思はれます。

＊　＊　＊　＊　＊

□寫眞說明　六頁挿入の寫眞は赤城山頂の大沼小沼が濃霧の間から漸く見え初めた光景です。この沼に就いては前號に詳記してありますから、御參照下さいまし。

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

配達夫と共に歩んだ

大森郵便局長夫人

―「女の郵便屋さん」の問題に就て 體力さへ許せばよいと語る―

九州の某所から、女を郵便局の集配人に使つてもよいか、と遞信省へ照會して來たのは十日ばかり以前のことであつた。それは歐洲の戰爭の爲めに勞働者が工業界に走つて減少したので集配人に不足を告げるやうになつたからだと言ふことである。女の郵便屋さん！時代の要求は婦人を郵便局の集配人にまでにしやうと企てるやうになつた。歐洲の各國では既にそんなことは普通のことになつてゐるけれど、日本では、まだ全く初めての事實である。結末はどうつくか、興味ある問題だと言はねばならない。が、日本にもそれに似たことを十數年前に實行なすつた婦人がある。それは現大森郵便局長郡司之敎氏夫人喜舞子様である。

＊＊

私がお訪ねしたのはばら〳〵と大粒の雨が落つる後からかつと太陽が照るやうなそんな日の午後であつた。蘆戸の蔭涼しき八疊のお座敷に通されて、お二人から交互にその思ひ出をうかがふ。之敎氏はもと中央郵便局の貯金局の局長をなすつてゐた方、その地位を後進の士に讓つて大森の局を引きうけなすつたのは今から十三年前のことである。號を棋所と呼び、篆刻に巧みで、大正博覽會には賞をさへ得られてゐる。

「家内が事務を助けたのは局を引き受けた當初の事で、普通三等郵便局時代でした。特定になつてからは人の配置が行きわたりましたので次第に引つ込むやうになつて了ひました。あの當時色々の事をさせて置けばお話の材料があつて面白かつたのですけれど：。」と、氏は傍の夫人を見ながら微笑して仰有る。夫人は夫君のそのお言葉の裏書きをするやうに、

『私は生來まことに無趣味な女である所から、漸く體を働かすくらゐが能だつたのでございます。局を引き受けたのは明治三十八年の四月一日でしたが、その當時が恰ど近頃のやうに男の人手が少く、事務員や集配人に不足致しました。で多くは東京の桂庵に賴んで人を送つて貰ふ始末でした。けれど土地に下宿屋やうのものがなかつたので朝晩御飯を焚いてやつたりして居りました。また土地の人でないので地理に暗く、夜分の電報配達に困り、他家の門前までよく私がついて行つて敎へてやつたことがございます。郵便配達夫のことを手傳つたと言ふのはこの電報のことでございませう。もつと本氣になつて致せば宜しかつたのでございますが：。』と仰有る。氏はまた傍から、

「あゝその當時だつたんだね、よく犬に吠えられて困つたと言ふのは。」すると夫人は、

「えゝ、電報配達夫は門內に這入つて了ふので出て來るまで私は一人で暗い門前にしよんぼりと立つて待つて居りますと、犬が怪しんで吠えつきますので恐ろしくて、ほんとに困りましたつけ。」と追懷し、そして『あの頃は折角道を覺えて少し慣れて來たと思ふと止して逃げるので集配人に困りましたのでございますね。』など仰有るのであつた。

＊＊

夫人は斯うして十二三年前は自ら電報配達夫について各所へ

八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いかれたり、その人達の御飯の世話から朝早く汽車で發送する郵便物を運んで行く遞送夫を起しに行つたりなすつたと言ふ。そして家事の暇々には事務もお手傳ひなさる。氏もまた集達する場所を數へたりなどなさらねばならなかつたと言ふ。當時の大森は甚だ鄙びたもので、一口談のやうな事がざらにあつたものださうな。或る時などは身なりなど餘り卑しからぬ婦人が電信の受附口へ來て、仙臺まで電信を賴むと言ふ。で賴信紙を與へてお書き下さいと言ふと婦人は、

「いえ、其樣なものはいりません。之れを送つて下さい。」と言つて出したのは印形であつた。で電信は電氣の力で符合を以て遠い所へ談を送るので、そんなものを送ることは出來ないから夫れは小包になすつたら宜しいでせう。と敎へられると、では紙に印をおしたらそれが送つて貰へるかなどゝ言つてなか〳〵分らなかつたことかあつたとか

また之れは土着の人で息子が出征してゐる家であつた。よくその出征した息子から手紙がくる或る時郵便監視人がその家へ行き、何日に手紙が來ましたかと訊ねると其の家の老人が、ウン來たやうだよと、言つて棚から持つて來たのは三四通のまだ封も切らない手紙であつた。見るとその中には既に一ケ月も以前に配達されたものもある。監視人は驚いて爺さん之れは何うしたのかね、と訊くと、息子から來たんだと思ふけれど己は字が讀めないので、誰れか讀める人が來たら讀んで貰ふと思つてゐた所さ。お前讀めるなら讀んで吳んねえと言つたので三四通の手紙を一度に讀んでやつたと言ふことである。之れほどその當時の大森は野暮であつた。けれど發展地の事とて年毎に發展して行き、郵便物の出入などは十倍になつてゐるとか、夫人はその間にあつて今は昔のやうに事務などこそお助けなさらないが、使用人の衣類から寢具類の世話をなすつてゐる。五十路を超えてゐられると言ふのに四十五六にも見えない若々しい小太りの婦人である。お話毎に微笑がお顏に浮ぶ人なつこい方であつた。氏は九州の女の集配人のことに就いては、體力と文字さへあれば、宜しいでせう。と仰有つてゐた。（民子）

業成つて歸國した
朝鮮婦人の消息

去月十九日　東京府女子師範の第二部生の卒業式があつた節優等生さして　朝鮮婦人の玄貞子（二十一歳）が、優良な成績を以て卒業證を與へられた由は、當時の都下の新聞に報導された事であります。其の後單身歸國の途につきましたが、八日無事歸宅の由を知らせて、次のやうな手紙を彼の女の在學中の保證人宛によこしました。文章も文字も少しも手を入れてありません。

「歸國以來御無沙汰申し上げましたが暑い此頃皆樣には如何御過しあそばしますか私は御かげ樣で去月廿五日午後安着致しましたさて私事在京の時は何時も御親切なる御世話樣になりまして實に〳〵ありがたく御禮申さうと存じても如何なる言葉をもつて御禮を申し上げてよいか存じません只感謝の淚にむせぶばかりでございます皆樣の御親切なる御同情や御祈によりまして幾年の間無事に勉强する事が出來たばかりでなく體まで丈夫で事なく業を卒へて此度歸國する事が出來ました事を考へますと是等は皆樣の御力によると存じます私は此後もます〳〵この事を深く思つてなほ〳〵向上したいと祈つて居ります。私は歸國した翌日から發熱でこまつて居りますそれで毎日家で大事に致して居りますから何卒御安心下さいませ私は明日から夏期講習を致す事になりました科目は敎育國語算術修身でございます今日はこれでよします又後から御手紙をさし上げませう恐れ入りますけれども皆樣によろしく御傳へ下さいませ。

八月五日

玄　貞子

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（十七）

都近い海水浴場の此頃

▲風は少し强かつたが、碧空の高く晴れた日であつた。大森の海水浴場に行つて見る。今年は色々の紛爭から十五日間開場が遲れて、七月十五日に開かれたさうな。開場以來毎日殆ど滿員で、數百人の人が流れ込んでゐる。岸の高い海岸には葭簾張りの休憩所が立ち並らび、涼しさうに風鈴などを鳴らして海面に浮いてゐる。靜かにドブリ〳〵と寄せてくる波は、海中に立つてゐる人の頭を超えて、棧橋の足を洗ふ。私の行つたその日は雨上りの、風の凉しい日であつたにも拘はらず、白地の浴衣などを着た書生さん達が、齒だけ白く光らせて濡れたタオルをぶら下げて通つたり、水兵帽を冠つた坊ちゃんが道の眞中にうづくまり、お祖母さんらしい方に駄々を言つて困らせたりしてゐた。坊ちやんの唇の色は薄紫色に變つて慄えてゐるが、まだ海に這入りたいと言つてゐるらしい。入浴料は大人が拾錢、小供が五錢。浮袋もある。

▲私は這入らうか這入るまいとためらひながら、其處いらぢうを見廻つて行く。何の葭簾張りの中にも相當に人が這入つてゐて、ウヨ〳〵してゐる。着物を脫いで海中に飛び込まうとする人、慄えながら海から上つてくる人、無作法に、猿股一つの眞裸體で赤黑く光る脊を日光に晒らしてゐる人、さながら太古のまゝの光景である。私は眞赤な顏になつたり、うつむいたりしながら海面を見る。遙か向ふまで半圓形に目標が立てられてゐて、黑い頭が浮いたり、隱れたりしてゐる。岸近くの淺瀨には小さな子供や、まだ海に慣れない人達がボチャ〳〵と音を立てゝ遊んでゐた。大きな波のうねりは其處いらまでは押し寄せて來ない。丸い浮袋の中から半分胴を現はしてゐる人が沖の波の間に見えたりした。此の海岸には海水に冷えきつた體を熱い砂の中に埋める砂濱のないのが、浴客に對して物足らなく思はせる。ブラ〳〵と散歩する濱のないのも海に這入らずに海岸で遊ぶ人には物足らない感じがする

▲路端を歩んでゐる海岸の人らしいお婆さんに今年の樣子を訊ねると、

『此の間の暑かつた日などは芋の子を洗ふやうな人出でしたが今日あたりはほんとに少ないんですよ。女の方も隨分來られます。八月一杯は斯うでせう。』などゝ言ふ。賑やかな事である。

少し上品な人や婦人のために大きなお茶屋もあつた。一寸した料理やもあつて晝食の用をたしてゐた。私は海へ這入らずに氷やの椅子によつてもう一度沖の方を眺める。豐かな潮の香をふくんだ風が冷たく吹き上げる。右手には大きな瓦斯タンクが靑草の間に浮いてゐる。海水は淸らかなと言ふ程ではないけれど、暑い夏の日の爲めに手近で凉をとるのに不足はないであらう。男九分、女一分、春のオリンピック大會の影響をうけてなのか、泳ぎをする人が多いやうに見えた。夏の日の一つの社會である。（民子）

噂

東京高等商業學校教授カンドレツト氏の令孃エミーさん（八才）は日本女子大學校附屬小學校に通つて居られます。或日お友達が「何々さんのお父樣はお妾があるの。」と申すと「宅の父樣だつて六つもあるわ」と申されました。家に歸つて母樣に「父樣はおめかけが六つあるわれ、母樣のも澤山にあるわれ」と申されます。何の事かとよく〳〵聞いて見ると「お眼鏡」の事と思ひ違へて居る事が解り、大笑ひをされたさうです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

旅行と眼

知らねばならぬ眼の保護

醫學博士　前田珍男子

□トラホームの豫防

旅行中一番注意すべき事は、澤山ありませうが、私の立場から申しますと眼病中の傳染病であります。それは窒扶斯、虎列剌の如き急性傳染病や、結核、癩病の様な慢性傳染病などではなく、トラホーム及び其の他の傳染性を帶びた眼の結膜の病氣であります。斯うした傳染病は病毒のある眼脂の着いた手拭、洗面器、布團或は風呂などからも媒介せられて傳染する事があります。よく旅館などに着きますと、冷めたい水で手拭を絞つて持つて來て呉れます。暑い時には何よりも有り難い事でありますが、自分より前にもしも惡い病氣の人が用ひたものであつて夫れが十分に消毒せられなかつた物であるならば實に危險千萬ではありませんか。も一つは便所の手拭でありますが、これは個人の家庭なら格別、旅館などでは近頃餘り懸けないやうです。が、これも亦注意しなければなりません。近頃汽車の便所には、消毒した手拭が置いてあつて、一度使へばこれを他の入ものに投入するやうになつて居ります。何處でも、此處まで注意して居つて呉れゝばよいが先づ最も安全な方法をとるならば、各自に手拭を用意して居る事で洗面の場合でも危險と思はるゝ時には強いて洗面器を使はずとも手拭に清水を浸してそれで顔を拭へば事が足りるのであります。

□汽車汽船中の讀書

先日某紙に矢張り旅中の注意をお話しましたところが、京華學校長の寺田勇吉氏が、汽車は電車や俥と異つて搖れ方が少ないから、時間經濟の爲めに讀書しても眼の爲めに餘り害はあるまいと申された事もありましたが、どうしても動かない譯には行きませんから、車中での讀書は萬止むを得ない時の外はこれを全廢なさる事をお進め致します。唯眼を近くし、疲勞させるばかりでなく、それが爲めに全身に迄影響を及ぼす事がまゝあります。又汽車中でよく見掛ける例でありますが、下手に窓から顔を出して煙突から出る石炭灰の小片が眼の中に這入つて困難して居る方があります。此の時には直ぐ眼を輕く塞いで、暫らくしたら靜かに眼を開いて下向き加減にしながら膝の上に手を置いてその掌中を見て居ると涙液の爲めに自然に埃は内眥の方に出て來て容易に除る事が出來ます。それを心配して無闇に擦るものですから、中々除るに困難になり角膜にも傷をつけるやうになります。眼の埃は大概上眼瞼の内面で瞼緣に近い處に這入て居るものですからもし前の方法で出ないで痛むやうの事がありました時には、早く醫者の手當を受ける事が肝要です。

又汽車でも船でも乘れば醉ふので旅行が出來ないと云ふ人もありますが、この眩暈と云ふのは今迄は一つの性分として手當の方法が無いとされて居りましたが、近頃になつてそれは眼に生來からの異常がある爲めに、頭腦がひどく過敏になつて眩暈を起すのであると云ふ事が判りました。そして眼鏡の裝用により永久に根治する事が出來るやうになつたのはさういふ患者の爲に幸福な事であると思ひます

□突目の危險

素人が輕く見て居る事で危險

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の多いのは、登山の際どうかして立樹の枝葉で眼を突いたり木の葉の端で眼を擦る事があります。これはよく匍行性角膜潰瘍を起して潰れる事があります。お百姓は突目と云つて、丁度田の草をとる時分に稲葉の先きで突いたのが原因で失明する事がありますから經驗上恐れて居りますが、都の人は滅多に出會す事がないので棄てゝ置いて大事に至らしめる事がないでもないのです。ですから目を突いた時にはそつと抑へて置いて、もし痛まなくともゴロ／＼する様な事があつたらば早々醫師の手當を乞はなければなりません。又海邊に行つた時には海面からの反射を用心しなければなりません。日蝕を鏡などに寫して見たが爲めに内障眼になる事などがあると同じく、强い日光の反射で眼の底を燒くことがありますから、これを防ぐ爲めに煙色の眼鏡をかけて行く事を忘れてはなりません。以上の外避暑地生活の徒然さによく有り勝ちの事であると思ひますから、一寸御注意致して置きますが横臥したり仰むけになつたりして讀書する事は非常に眼を疲勞させます計りか、知らぬ間に全身に意外の悪しき大影響を來し身心を苦ませますから深く愼まなければなりません。

汗になつた着物の手入

日本女子大學校教諭　若原榮代子

▲新らしい汚點でも一旦汚點になれば、容易に除れ難いものです。特に模様ものなどは、汗汚點を拔くが爲めに、外の染色を散らす事がまゝありますから、努めて汚點を作らない工夫をする必要があります。それには外出して歸つて來た度毎に、汗で濡れて居る處は勿論、それでなくても袖口襟等の肌に付いた處を一寸水に浸けて、絞らずに干して乾かします。色の褪める恐れのあるものゝ時には濡れた手拭ひで拭て置きます。然しどうかすると、濡手拭を當てただけでも色が動くものがあります。こんな時には大急ぎで揮發油を付けると止まります。

▲以上の如き注意をしても萬一汚點になつた場合には、薄すりしたアンモニア水をつけます。もし白色の布でしたらば、蓚酸を薄く溶いてつけ、全然落ちない時にはコップ一杯の水に對して酸性亞硫酸曹達液を茶匙に二杯、亞鉛抹茶匙に四分の一を入れて、一度煮沸せ熱い間につけると大概は奇麗になります。後は水洗ひして干します。同じ白でも羽二重ならば石鹸を薄めに溶した液につけて、ブラシで布目に添つてこすると、よく落ちます。

▲着物や褞袢の襟の汗と、白粉と一所に汚れたものは、揮發で一度拭つて、水につけて、齒磨楊枝で布目なりにこすると落ちます。

十二

化粧問答

（問）煉白粉や水白粉に使はずに出來る簡單な薄化粧の方法はどうしたらよろしいでせう（新潟、白妙）

（答）クラブ美身クリームをお化粧下として引き、クラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の眉刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルを指に卷付けて眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒した薄化粧が出來上ります。又た一つの方法はクラブ美身ゼリーを能く顔に塗り、乾き加減の所へクラブ打粉白粉を打付けて、輕く拭き取つて置いても宜しうございます。此のお化粧法をお採りになりますと、特に白粉をお付けになつたやうでなく、地肌が自から色白に見えますので、所謂隠し化粧と申しますのは即ち是でございますクラブ打粉白粉は、羽二重の袋入になつて居りますから、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

毎日取るべき

副食物

日本人の保健に必要

□味噌と梅干と糠味噌

副食物として毎日必らず食すべきものは味噌汁である。之は味礎とも書いて、凡ての味の基をなして居るもので、毎朝一杯づゝを食すれば青白い顔は家の内に見えなくなる事は事實である。尚ほ梅干は鹽酸の結晶と同じで、虎列剌菌は五百倍の鹽酸溶液中で死滅させる事が出來るのであるから、梅干を食する時は勿論菌を死滅させる事は容易である。次に特効のあるのは糠味噌である。これは一日二日の若漬けは却つて害になるが、長くよく漬け込んで置いたものならば殺菌する力がある。よく長い間糠味噌に漬けて置くと酸くなると云ふが、鹽を充分入れてさへ置けば決してそんな事は無い。これを食するれば猩紅熱菌でも二時間以内で死んで了ふ。其の他澤庵味噌漬福神漬けも非常な殺菌力を持つて居るものである。

□鹽分と野菜

凡て人體は鹽分が充分であればそう病氣するものではないが取り分け八九月は、汗として排泄される事が多いからこれを補充する丈けの鹽氣を取らなければならぬ。故に野菜を煮るにしても醤油を辛目にして、大根、人參、牛蒡、芋類などは、皮のまゝ氣長に汁をよく含ませるやうに煮たものを食べてさへ居れば醫藥に親しむやうの事はないのである。魚類にしても生魚の時には必らず大根おろしを添へれば中毒事はない。けれども鮪、鰹などの生は血を混濁させるものであるから、絶對に食さない方がいいのである。凡て魚肉にせよ、獸肉にせよ、肉類は野菜と共に煮て、味を出す爲めに用ふる位ゐの心持ちで使はなければならない。

□自然の儘がよい

肉類の中、川魚は夏負けのする人は是非食すべきものであるが、これも矢張り野菜が伴はねばならない。牛蒡の添つた柳川鰌汁、鯉こく等は最もいゝ。

要するに食物は餘り人工を加へたものでなく、自分の土地に出來た自然物であれば決して惡い結果を産む事はないのである統計によつて流行病罹病者の食物を調べて見ると、田舍から都に出で丶急變に食物が變つたと云ふやうな人々に多いのを見ても、日本に産出する自然物を以つて我々の常食として行つたならば、必らずもつと健康を増進させる事が出來やうと思はれる。（石塚食療所長談）

御携帯にも頗る御便利でございます。

（問）天瓜粉は身體へ振つても害のないものですか（大阪、玉枝）

（答）天瓜粉にも依りますが、クラブ天瓜粉のやうな優秀な天瓜粉なら、幾らお使ひになつても差支へありませんのみならず、著しい治療的効果を有つて居ります。クラブ天瓜粉は汗や脂を吸收して水分の蒸發を促し、肌溫を冷し、血管を收縮し、充血を退け、從て皮膚に清凉の感を與へますから、汗おさへ、たゞれ止め、乃至鎭痒劑として殊に夏季は片時も欠かされない必要品でございます。近頃は天瓜粉の代りに白粉兼用のクラブタルカンを愛用せらるゝ御婦人も殖えて參りました。クラブタルカンは髭剃の際、剃刀負けを防ぐ爲に、紳士間にも賞用されて居ります。何れも宮内省、皇后宮職、各宮家の御用品でございます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

漁夫と百姓

極端に異る生活

斬雲

▲百姓と漁夫、一は陸者一は濱者、其の生活狀態の差異が甚だしい事がつく／＼感じられます。百姓は一年にたつた一度の收穫です、農作凶作も一年にたつた一度の勝負です。處が濱者即ち漁夫は毎日新たなる漁獲をするのです。百姓に比し三百六十五倍の樂みがあるのです。

▲百姓は如何に豐作を見積つても其の收穫は見え透いて居ますだから其の希望も限られて居ます。之に反して漁夫の方は一網千兩萬兩を夢みる事が出來ます。古から一網萬兩などの實例もあつたと言ひます。

▲漁夫は種を蒔くの勞なくして尚ほ大きな賭博的收穫を當てにするのです。海は自然の寶庫なのです。然るに百姓は大骨を折つて種を蒔いても、尚ほ豫想通りの收穫さへ取れぬ事が多いのです。田畑を作るといふ事は苦役の牢獄です。

▲漁夫は一年三百六十五回の希望を繰返すのです。百姓は三百六十五日を通じて、唯だ一回の希望を繋ぐのです。

▲世間では「農家は堅い、間違がない、」と言ひます。併し之は大地主の事で小作人は死なない限りに生きるのです。小作人は其の秋の收穫米の中から地主へ貢米を拂へば、殘る處は來秋迄妻子を養ふにも足らないのです。而して他に收入の當てもないのです。

▲漁夫は賭博商賣の樣に思はれろ、隨分其の生活も不定不安な樣だけれども、飯が食へなくて餓死した漁夫もないのです。等しく餓死する心配がないとすれば、毎日新たなる希望を抱いて蒼茫たる大海原を眺めて『今日の勝負は如何に？』と首を傾げる漁夫の生活には十分の樂みがあります。

▲然かのみならず、其の日常渡世業務の狀態を考へて見ると、漁夫は年中お祭り騷ぎをして居ます。舟に乘つて海へ出る時も十人二十人と雜居して肩摺り合せ膝突き合せ絶えず笑ひさゞめいて居ます。百姓が田畑に居るには離れ／＼になつて仕事をし且つ全力の勞作をするので、口を利く餘裕もないのです。

▲百姓の樂みは田植ゑです、一年にたつた一度です。處が漁夫ならば毎日田植以上のお祭騷ぎをして居るのです。毎日曳く地曳網は田植以上に樂みのある賭博的な仕事です。網が上る迄は千兩になるか、百兩になるか、知れぬので、其の勞役の最後迄樂しい期待を伴ふのです。

▲濱の者は「魚と泥棒は何時來るか知れたものでない」と言ひます。今夜無一文でも明朝になつて鰯の大寄りが來たなら、一介の漁夫も一日に十四廿圓に有り付くのです。

十四

▲其代り漁夫は風浪の危險あり、板一枚の下は地獄だと言はれます。之は大體に於て漁夫が百姓よりも危險な事を言ふのです、併し之を個人個人に就て見ると、漁夫は絶えず風浪の危險を惡苦して居るのではありません、尚ほ軍人と文官の差です。軍人は皆々神經衰弱にかゝつて居るでらないでせう、同じ事で、漁夫も、濡れ手で粟をつかむ如き、其の張合ひのある、商賣を誇りとして、却て土百姓の心たゆまる、生活を嘲つて居ます。

▲扨てこんな海人と陸人との生活の差異が何から來るといふに唯だ前者は海邊に生れ、後者は山地に生れたといふ丈けの事です。人間の運賦天賦といふものは、如何に其の境遇を有利若くは不利なるらしむかを思ふと不思議でなりません。私は多少の危險があつても陸者よりは濱者の生活を希望します。但し漁業は一介の漁夫に利あり、農業は大地主に利ある事は又別問題です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十二）

お前は入用だ！（下）

琴子

次の日は日曜でした。

ハアレーの家では、日曜日には、家中、仕事を休んで、靜かに一日を過すのです。

處が、今朝は早くから、賑かな、ヴアイオリンの音が聞えて來ました。ハアレーは、目を丸くしてデビッドの部屋へ、やつて來ました。戸を明けるが早いか。

「お前！そりや何だい？」と叱るやうに言ひました。

デビッドは、一向平氣で、笑ひながら

「おぢさん、解りませんか、この音を聞いたら、きつと、おぢさんには解ると僕思つたんです。今朝、僕うれしんですよ。早くから、鳥が窓の處へ來て「お前は入用だ、お前は入用だ。」つて歌つてるんだもの、そとの木を見ても、さう言つてるやうに見えるんだもの。」

「今日は日曜ぢやないか、神樣の日だよ、お前、神樣を知らないのかい。」

「神樣？僕、よく知つてます。」

「そんなら、靜かにしたらいゝ。今日は彈いたり、歌つたり、大きな聲で笑つたりしちやならんのだ。」

「どうして？おぢさん。ちつとも惡るい事ぢやないでせう。」

「ふだんはいゝ。日曜日にはいけない。」

「ぢあ、僕の神樣とおぢさんの神樣は違ふんだ。僕の神樣倚麗な事、何でもお好だ。」

ハアレーは默つて、行つてしまひました。

朝の食事の時も、ごく靜かでした。誰一人、笑ひ顏をする人もありませんでした。ハアレーが聖書をよんできかせました。デビッドには、よく解りませんが、おとなしく座つて居ました。そのあとで、時間が來たからと言つて、敎會へ行く支度をさせられました。

お神さんが、自分の子供のであつた、眞白な着物と赤いネクタイとをしてくれました。そして頭をきれいに、とかしたりして、デビッドは、今までした事のないほど、倚麗にさせられました。

一體、敎會つて、どんな處だらうと、デビッドは考へました。下男のペレーに聞いて見ましたが、それも知らぬかとあきれられる計りでした。其內、デビッドもハアレーとお神さんにつれられて出かけました。

敎會は家から四五町離れた處にありました。小さい家でしたが、大きい立派なパイプオルガンと、上手な彈手が町から來るのが、この敎會の人の自慢でした。

デビッドは、きよろきよろしながら、ハアレーの家の、きまつた腰掛にかけて居ました。少し時間が早かつたのか、まだ人も少なく、初まつても居ませんでした。暫くすると、一人の男の人が、オルガンの前に座つて靜かに、初まる前の音樂を彈き初めました。

敎會はしんとして、おごそかになりました。デビッドには、十も二十ものヴアイオリンが鳴つてるやうに聞えます。

そーッと席を立つて、オルガンの前まで行つて、ぢつと聞きとれてゐました。が、オルガンがやむと一所に、

「おぢさん、僕にも敎へて頂だいな。」と言ひました。

其人は、じつとデビッドの顏を見て居ました。すると、そばに居た人が「とんでもない」と言ふやうな樣子をして、無理に、デビッドを、ハアレーの所へかへらせました。

十五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「默爭」について

おわびにかへて

高田てい子

由喜さん。

あなたが熱心に期待して下すつた私の『生み子』は、世にもはづかしい畸形兒でした。みじめに瘠せほうけてゐるこの母體が、どんなに苦しく眞劍に力もうと、立派な子供の生れるはづのないのはわかりきつたことです。けれど、それでもこうまで醜い片輪者が出てこやうとは、私自身も思ひがけないことでした。

あなたは私が「默爭」の中でなにを書こうとしたか一ばんよく御存知です。そしていよ〳〵なにかを書かねばならない間際まで、ためらひ苦しんだことも。

私は「默爭」の中で結婚後の戀愛を取り扱ふとしました。運命愛と戀愛との爭ひ――むしろたゝかひ――を。その爭ひからはなれて信仰の對境に落ちついてゆく女を。もはや一つの信仰に徹つして、まはりに起りくるすべての問題を温靜な寛い胸に默つていだいてゆく男を。戀愛の純一性をたもちつゝ、しかも幻滅と顏つき合せながら、どこまでも孤獨の道をすゝもうとする若者を。そして各自のちがつた苦しみを。惱みを書こうとしたのです。

そのひとり〳〵に於て私は、「完き自己」でありたいと思ひました。個性と境遇と背景の色別もあきらかにしたいと思ひました。概念の藁人形が三つ四つ頭のなかに出來あがりました。役割と臺詞もきまりました。まあそこまで、どうやら御無難な仕事だつたのです。けれども藁人形を息づく人間にして一つの大きい問題のまはりをめぐり歩かせやうとしたとき、彼等の動作はどんなに不自然で滑稽だつたでせう。私はすつかり失望してしまひました。

饑饉地からやつと救ひだされたばかりの人たちに、手踊りを無理强ひしたとすれば……。きつと彼等は幽靈のやうな、ひよろ〳〵舞のあげくに疲れ死にするでせう。

由喜さん。私のゑがこうとした人間はみんなそう云つたやうな狀態にゆきつまつてしまつたのです。なぜそうならねばならなかつたか。私は 私の貧しい想を、數人のものに盛り分けてうすつぺらな空想でそれを溶いてしかも聰明に慧敏にみんなを働かせやうとしたのですもの。ほかにもう二つの理由を自分の

十六

うちに讀んでをります。あなたには多分それがおわかりでせう。私のかつての澤山な饒舌から御想察なすつて。

由喜さん。私の心はまだある偶像にこびてゐるのです。私の唇から叮嚀な諂ひ笑ひがきえないあひだは、私は同じ點にいつ迄も立ち滯つてゐなければならないでせう。すゝむ爲めには勇氣と膽力が要ります。いゝえそれよりも自身の内にふかく潛む爲めの苦行が今の私にはもつと必要でせう。

「貴女の眞の創作の日は、あなたの全生活の最高潮に達したときである。眞の創作は眞の生活の表現によつてのみ爲さるゝ。人は人自身及びその所有以上に在るものをも表現する事はできない。生活は全部である。表現はその一部である。生活を時空的に形而上的に廣くふかくすればするほどその一部である表現も之に伴ふ……」

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かつて或る人からこういふ忠告めいた言葉をうけたことがありました。この頃あらためてこの言葉を味ひかへしてをります「私の所有物……」そう云はねばならないときに私の頬は、はぢらひの爲めにあつくなります何が私にあるのでせう。幼稚な頭があちこちから掻きあつめた智識の鋸屑のなかで、周圍の近い人たちから貰ふまた盗む思想の紙屑籠のなかで、生意氣な寢言を云ひたがつてるのでないでせうか。

ふでが横道によろけだしました。こんな自己不平が責任感を少しでもうすくするわけではありませんのに。そうです。私は「約束の聖壇」のまへにぬかづいて、私のとぼしいもちものの中から、もう一度供物をえらびなほすべきです。

由喜さん。私は今度ほんとにあどけない、ほゝゑみの多い子を生みたうございます。どんな不器量でも赤ん坊の笑顔は可愛いゝものですから。

あなたの責任ある旅路に幸ひをいのります。（八月四日）

見合失敗物語（四）

電話での話—これは危險！

藤浩一路

E君が早稲田大學を卒業した當時、懇意の洋食屋の亭主の肝煎りでいよ〳〵見合—さいつた處で、いづれ正式に堂々とやることは出來ぬから、所謂近頃流行の片見合—向ふに知らせず、こつちでばかり向ふを見てやろ—をやることになつた。ところが丁度幸ひ其娘さんといふのが、其洋食屋の向ひの酒屋へよく電話を借り來ると聞いたので、其機を利用し、目的を遂行しやうと手筈は定まつてゐた。すると一日洋食屋からの使で、早く〳〵とせきたてられ、E君此處を先途とかけつけ、今しも電話をかけてゐる相手の一擧一動に目と耳と心を集中してゐると、何ぞはからん、彼女の電話の相手はどうも男らしい、こいつ臭いぞと今度は耳ばかりに全力を費やすと、たしかに男だ。

これはいかん、これは危險、と、一も二もなく見事に破談が洋食屋の亭主の頭上に宣告された。

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

東京市内に評判の
玉おしろい

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉米國の禁酒案通過

米國上院は八月一日二十對六十五の多數を以て、全米國に絕對禁酒を强制する憲法改正案を可決しました。まだ下院の議決を經なければなりませんが「下院に於て三分の二以上の多數を以て可決したる後、六年内に三十六州の同意ある時は確定すべし」といふ制定です。三十六州とは全州の三分の二に相當しますが、既に禁酒州は二十五の多きに上り、一部禁酒のもの十一州、來年より禁酒實行のもの三州ある筈ですから、もはや三十六州以上の同意あるものと見て差支へなく憲法制定より之れが實行を見る方が、早いでありませう。

◉露國首相の辭表提出

露國首相ケレンスキー氏は、刻下の必要に應じ得るやうな政府の改造を行ふ事が出來ずとて辭表を提出致しました。然し政府は氏を措いて今日の政局を治め得べき人物なしとて、これを撤回したと申します。一體氏は勞兵會の出身でありますが、其の爲す所は動もすれば勞兵會の意思に添はぬ傾向もあり、毫も平和論に耳をかさずして却つて戰爭を遂行し、軍隊に於ける死刑を再興するなど確かに勞兵會の反感を買つたものらしいとの事であります。然し首相の辭職が事實となつて表はれる曉は、露國の前途は頗る寒心に堪へないものがあると申します。尚ほ露都衞戍總督エルゼリー將軍が暗殺されたとの報もありますが、原因はまだ不明です。或は非戰論者に對する假政府の壓迫が、一部の人々を憤激させた原因となつて同將軍に禍が及んだのではあるまいかとも想像されます。

◉小ルーズヴエルト氏の出征

米國のルーズヴエルト氏次男カアミツト・ルーズヴエルト氏は土耳其軍と交戰中の英國軍隊に參加する爲め出征しました。氏は父君の氣質を繼いで、熱心な運動家であり、頭腦も頗る明敏の人である由です。

◉陸軍の大更迭

陸軍の定期異動は例年よりも遲れて去る六日に發表せられました。即ち其の主なるものを擧ぐれば、近衞步兵第一旅團長久邇少將宮邦彥王、步兵第一旅團長梨本少將宮守正王の兩殿下には共に中將に御陸進、久邇宮殿下は第十五師團長に、梨本宮殿下は第十六師團長に御榮進遊ばされました。又神尾大將は後進の途を開く爲めに勇退し、青島守備軍司令官大谷喜久藏、朝鮮駐劄軍司令官秋山好古兩大將は中村覺大將と共に軍事參議官に進み、松川東京衞戍總督は朝鮮駐劄軍司令官に、松川中將の後へ仁田原重行中將が補せられました。青島守備軍司令官には本鄕房太郎中將が任ぜられました。

◉日本海軍の名譽

英國皇帝陛下には、先きに英國軍艦輸送船トランシルヴアニヤ號が獨艇の爲め襲擊されたる時、我驅逐艇員が危險と困難とを冒して、之を保護せるを嘉賞し、海軍少將バラード氏をして地中海出動中の日本艦隊司令長官を其の旗艦に訪問せしめ、士官七名、下士卒二十名を選拔の上勳章を授與されました。かくの如く一國の元首が親しく其の代表者を遠く外國の海上にある外國軍艦に送つて、わざ〳〵勳章を授與したことは尠い事であつて、我海軍の大なる名譽であると申さねばなりません。尙ほ傳達された勳章及び賞牌は左の通りです。

コンパニオン・オブ・聖マイケル・アンド・聖ヂヨーヂ
驅逐艇隊司令官　横地錠二

殊勳章(デイスチングイシュド・サアヴイス・オーダー)
海軍中佐（？）鹿島次太郎
同　(戰死)上原太一
機關中佐(戰死)竹垣澄信

殊勳十字章(デイスチングイシュド・サアヴイス・クロス)
海軍少佐　近藤榮二郎
同　庄司彌一
軍醫　有賀長圭

殊勳賞牌(デイスチングイシュド・サアヴイス・メダル)
兵曹長四名、兵曹十名、機關兵四名、看護卒二名、

◉音羽遂に沈沒

志摩國波切村大王崎の暗礁に乘り上げた軍艦音羽は、栗橋丸高島丸の二船によつて引卸し作業を進めて居りましたが一日朝來襲來した怒濤の爲めに中央部を折斷されて同夜八時二十分遂に沈沒しました。幸重要軍器積載物は全部積替を終り、石炭五千貫餘と一部積載物とを水底に沒したばかりであると申します。

◉我國代議士の米國行き

近年米國はあらゆる方面に於て大發展を遂げて居るので、これ等を觀察する爲め、衆議院議員中から五人の代表的代議士を選出して派遣する事になりました。各黨からの渡米志望者は三十名にも及んで居りますが、財力が豐で風采があり、語學に秀いで、學問は勿論、經驗の豐富のものと云ふので資格が却々六ヶ數いものですから容易に其の人を得る事が出來ないと申されます。然し旅行費の幾分かは大岡議長の交際費の餘りがあるので頒かたれる由です。多分十五日迄には代表者の決定を見るべく、政友會から二名、其の他の三派からは各一名宛の豫定であります。

◉東京市に特別市制

最近の東京市は極東一の大都會と稱するも過言ではない迄に發達して居りますので、此際歐米の大都市の例にならつて特別市制を布き、東京府の監督から隔れて、直接内務大臣管轄の下に置くべき計畫で目下其の調査中であります。この案の年末議會の通過を待つて、衞生や交通方面に關する警察權を市長に委ねれば、電車の信號手に交通整理させたり、防疫事務員に衞生警察權を與へる事も出來ますので、より多くの効を納める事が出來ると、當局者は一般にこれを希望して居ります。尙ほ此の特別市制は奠都五十年祭の記念事業として、確立させたいと熱心に努力して居ります。

◉大迫院長退隱

學習院々長子爵大迫大將は老齡の故を以つて其の椅子を去らんとして居ります。院長の辭意は頗ぶる固く到底飜し難きものがありますので、波多野宮相は其の後任を物色中でありますが、牧野男爵を指目して居られるやうです。男は故大久保利通公の二男で其の經歷識見に秀で圓滿の人格を備へられた君子でありますから、先づもつて當を得たものであると評せられて居ります。

◉山根武官長逝く

東宮武官長陸軍少將正四位勳三等功四級山根一貫男は、豫て病氣の慢性腎臟炎に肺炎を併發し二日大久保百人町の自邸に永眠されました。享年四十九。氏の長逝に先き立つて夫人みつ子(三九)の方も重患に惱まされ、入院されましたので氏の逝去を未だ御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

存じないとの事です。病氣危篤の報天聽に達するや特旨を以て從三位に叙せられました。

◎議事堂改築　現時の國會議事堂はたつた六箇月間の速成工事で出來上つた假建築であつて、早くから本建築の必要を認められて居りましたが、日清日露の兩役につゞいて陸海軍の擴張問題等、政府の支出が多かつたので其の運びにも至りませんでした。然し現今は大分破損の箇所もあり、且つ代議士も增加したので愈々手狹さなりました爲め七百五十萬圓の經費を以つて改築される事となりました。建物は純粹の事務室向きのもので、地下室との三層樓の鐵骨にし、最新式の維納やアタベストなどの建築に則る由です。經費は七年度豫算として今度の議會に提出されるさうですから、可決次第明年度から着手されるでありませう。

◎警視廳令施行後の活動寫眞　活動寫眞の新警視廳令は營業者に非常な打擊を與へ、一日五六十圓の收入があつた館は漸く十圓止りの收入にしかならないと云ふ事です。營業者は前後策の必要上六十六館の代表者が集りて『乙種フィルムは外國より着荷なきを以て向ふ一箇年間延期せられたき事』『十五歲未滿の兒童と雖も父兄の保護者ある場合は甲種フィルムの觀覽を許す事』の二案の陳情書を作成し內務、文部兩省に請願する事を決議しました。

◎上流婦人の新運動　米國では七八年以前からシヴヰックと云ふ名の下に、多數の上流婦人が共同して各方面に働いて居りますが、日本には之に類似の會合が一つも無いのを遺憾として、鍋島、山脇、小室の各夫人等が相圖つてシヴヰックと同樣な聯合婦人會を組織せんことを發案し、最近白耳義公使館書記官デヴルゼー氏舍宅に於て東京各婦人會々長副會長及び幹事三十餘名が相會して諸般の打ち合せを致しました。本會の目的とする處は敎育、衞生、育兒、音樂、風規其他諸種の機關の不備の點に就て男子の注意の行屆かざる部分をも細心周密なる注意を拂ひ、之に對する設備の完成を期し、尙ほ進んで理想的施設をも研鑽せんとするのであります。其の法則等も追々確定する筈で會員は各部所を定めて二十名なり三十名なり專門的に硏究設備をする方法だと申します。來十月山脇高等女學校に於て重なる人々相會し萬端の決議をする筈です。

◎內田大使夫人歸朝　內田駐露大使夫人は嚴父土倉翁の重態を聞かれ、直ちに令孃及び二人の女中を伴ひ封鎖の露國々境を通過して歸朝の途に就かれましたのに、哈爾賓まで來られた時、遂に逝去の報を手にせられたのは誠にお氣の毒の次第でございます。

◎貴婦人連の久野女史招聘　信州輕井澤には七月の下旬から德川公爵夫人を初め細川侯夫人濱尾、福原、兩男夫人並古市、青山、新渡戶、江木の四博士夫人等が赴かれて居りますので大分賑はつて居りますが、この十日には久野久子女史を聘して一大音樂會を開かれる由です。

個人消息

△前島なか子　前島男爵夫人なか子の方(六九)は去る五月頃より肋膜炎を病み、小石川關口町の自邸に療養中の處、遂に去る三日逝去されました。夫人は高田早苗氏夫人不二子の方、京都高等學校教授松島鉦四郎氏夫人きく子の方等五人の母堂に當られ、お子樣方の幼時には、嚴格と質素をもつて敎育せられたと云ふ事は有名の事であります。又非常に多方面に趣味を持たれ、殊に音樂は和洋ともに好まれた由です。

△跡見李子　二日一番上野發にて信州輕井澤なる秋冷山莊に赴く。花蹊刀自は當分滯京。

編輯室より

▲海を戀ひ、山を慕ひつゝ、遂に數日の旅をもなさで、此の編輯室に暑さを凌いで終ひました。▲もはや立秋といへば、思ひなしか、朝夕の風さへ日に〳〵冷たくなり增つて行くのも樂しいことの一つです。▲殘暑は一しほ惡疫など誘ひ易いと聞きます。皆樣折角おいとひ遊しませ。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰岡両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

東京市日本橋區通旅籠町
宮内省御用達 發賣元 **甲斐産商店**
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科専門 大野醫院

（入院隨時）
院長 耳鼻咽喉科醫 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二三五七

東京至誠病院

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語専門私立 **櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

產科、婦人科、小兒科

女醫 **井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電 京 二二三一番）

マッサージ夏期講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、場所 牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日 自七月十六日至七月卅一日 / 自八月一日至八月十五日 / 自八月十六日至八月卅一日 日曜日を除き毎日午前二時間
一、人員 一回十人を以て定員とす
一、講習料 金拾圓也前納の事
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す
一、特典 講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は研究に出席する事を得

講習主催者及主任 女醫 **藤井孝子**

右御希望の方は至急牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

齒科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地

齒科醫學士 大久保透

シンガー裁縫院 生徒募集

●和洋服刺繍（東京有樂町一ノ五）

●ミシン專修

●毎月五日迄入學

大妻技藝學校

第三回個人教授夏季講習會

會場 東京麴町區上六番町七番地

科目

△生花盛花投入茶の湯 △縫細工科 △綿細工科 △摘細工科 △袋物科 △編物科作法科

△裁縫科 △儀式用折紙並に水引結方科 △刺繍科 △絞花科 △塚細工科 △染絞科 △造花

△ドローンウオーク

開催期日ハ八月中午前八時ヨリ午後四時迄個人教授ニツキ開催期間中ハ隨意ニ入會スルコトガ出來マス。校則並ニ講習細目御入用ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ。

大妻技藝學校

電話番町一二二〇番

振替口座東京三一六〇九番

自宅獨習 生徒募集

和洋裁縫講習録

共立女子職業學校教師 數氏及大家博士 文部省檢定委員 執筆

卒業一ヶ年

月謝僅に卅五錢

三ヶ月一圓・一年三圓六十錢

（美本毎號百六十頁）

□和服裁縫科 □小物及細工物科 □洋服裁縫科 □袋物科

■國民道德 ■教育學

■裁縫教授法 ■洗濯色染

▲檢定試驗問題解 ▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で教へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同樣の實力を充分に授く。■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初步より高等裁縫迄教授す。■完結の後は各科別に綴れば、それ〳〵立派な大部な書物となり、常に机上にありて教導す。■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を賴りに勉強し、教科書無しに地理や歷史を習ふ樣な不便がなくなる。

内容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路

日本裁縫教育會

電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所　東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA